

石原由貴

森光洋

安楽大輝

佐藤優太郎

岡田莞助

沖野凌可

http://lab.kenrikodaka.com/event/2018d_KSJ

中嶋友哉

- 頭部をすっぽんと抜く
(Head popping illusion)
- 脚を長く伸ばす体操
(Elastic legs illusion)
- 手紙の錯覚
(Paperized hand illusion)
- 重力反転
大車輪計画
- 軟体生物ヘッド
(Soccer ball head illusion)
- ボディプロジェクト指向
Finger stick illusion
- 蟹の錯覚対戦
(iPad Version)
- Self-umbrelling
(Siggraph Asia 2018 Version)

やながせ倉庫・ビッカフェギャラリー
2018.12.22-23, 2019.1.12

からだは戦場だよ 2018Δ (デルタ)

「からだは戦場だよ」は、小鷹研究室がすすめる「からだの錯覚」のプロジェクトの成果をいち早く発表する場として、2014年から毎年冬にビッカフェで開催している展示です。5年目となる今年のテーマは「ボディプロジェクト思考法」です。ボディプロジェクトはボディとオブジェクトを組み合わせた造語であり、研究室の近年の関心（いかにして身体を半ばモノのように体感することができるか？）を象徴的に顕す表現でもあります。

「身体を半ばモノのように体感することがいかに難しいかは、自分の手をまじまじと眺めてみればすぐにわかるはず。僕たちは、「身体」という特別な魔法の担い手に全権を委譲するのと引き換えに、「身体」という牢獄の中に閉じ込められかえる空間から永遠に疎外され続けているのです。身体を半ばモノのように体感するというのは、「身体」を剥いだ先にひそむ何「モノ」かに対する態度を回復するということであり、その先には複数的な変態に開かれた新たな自分の風景が見えてくるはず。そして、その段階に達するためには、極めて手続きのな呪術が必要とされるので。

「からだは戦場だよ」の立ち上げから5年が経とうとしますが、戦場の目指す風景は確実に届くべき人に届きつつあります。戦場の成果物は一見すると芸術的関心からかけ離れたところにある単なる心理学の装置のようにみえますが、これまでに多くの芸術畑の方々の関心を惹きつけてきました。実際、今回ゲストとしてお呼びする三人は、それぞれ美術や批評の方面で活躍されている方ですが、過去の戦場に一度は来訪されています。今回の企画を通して「からだは戦場だよ」と「芸術」の二つの装置が共有しているもの内実を明らかにしたいと考えています。

過去2年の戦場の展示物の多くは、まず岐阜ビッカフェで初めて披露された後に、国内外の大きな舞台での展示や受賞へと結びついていきます。今年も、例年と遜色のない不気味なトーンで新たな体験をお送りできそうです。ぜひお越しください。

12.22 (土) 13時 → 20時 1ドリンク

錯覚体験展示 (新作中心)

トークセッション (17:00-20:00)

「幽体離脱の芸術論」の射程距離

1000円 (1ドリンク)

12.23 (日) 13時 → 18時 1ドリンク

錯覚体験展示 (旧作数点)

展示・イベント タイムライン

1.12 (土) 13時 → 19時 1ドリンク

錯覚体験展示 (旧作数点)

レクチャー (15:00 - 18:00)

500円 (1ドリンク)

からだの錯覚、日常にひそむ異界の風景

岐阜市・やながせ倉庫 ビッカフェ

至 JR岐阜駅 至 名鉄岐阜駅

岐阜市弥生町10
090-3308-6309